第６学年　道徳科学習指導案

１　主題名　「広い心で」　　【Ｂ―11　相互理解，寛容】

２　教材名　「どうすればいいの？」（出典「きみがいちばんひかるとき道徳６」光村図書）

３　主題設定の理由

（１）ねらいとする価値について

学習指導要領解説「特別の教科　道徳編」で，内容項目の指導の要点には「相互理解，寛容」について以下のように記述されている。

> 指導に当たっては，広い心で自分と異なる意見や立場を尊重することで，違いを生かしたよりよいものが生まれるといったよさや，相手の過ちなどに対しても，自分にも同様のことがあることとして謙虚な心，広い心で受け止め，適切に対処できるように指導することが大切である。

人は誰しも過ちを犯すことがある。その過ちを謙虚な心，広い心をもって許す心情や態度を育てたい。また，いじめを生まない雰囲気や環境を醸成するためにも，互いの違いを認め合い理解しながら，他者を尊重する態度を育てることが大切である。

（２）児童の実態

５年生の頃にはいくつかあった友だち関係のトラブルも，６年生になってからはほとんど見られなくなった。各種調査や個別の面談でも，ほとんどトラブルの報告はない。

本実践を行う前に，児童向けにアンケートを行ったところ，人の失敗や過ちを許したことがある児童は多かったが，友達を許せなかったことがある児童も約半数いた。更に，許したことがないと答えている児童の中には，「許さないと，けんかになる。」，「許さないと友達がいなくなるから。」と，今後の関係を心配して「許した」という意見があった。このことから，困ったり，嫌な気持ちになったりしても，事を大きくしたくない気持ちや,関係を維持したい思いから，我慢する傾向にある児童が少なからずいることがわかった。

人の失敗や過ちを許すことは大切だと感じている児童がほとんどだが，それを実生活に生かしていくことができるように，教材の「私」と自分を重ね合わせて考えることを通して，トラブルがあったとしても，良好な関係を築くために必要なことは何か考え，行動しようとする態度を育てたい。

（３）教材について

教材のあらすじはおよそ，以下の通りである。

> 「私」と由希と朝実は仲良し３人組だ。「私」は朝実から避けられているように感じ，由希もそれを肯定する。思い切って朝実に声をかけると，由希の言動で振り回されていたことがわかる。朝実と「私」は由希を無視するようになるが，寂しそうにしている由希を見て，どうしようかと悩む。（学習指導書　朱書編より）

児童には「私」と同じように，意地悪をされた経験や，その意地悪な行為を許せないという思いを抱いた経験が少なからずあると考える。そこで，良好な関係を築くために大切な気持ちを考えるとともに，自分にも相手と同じようなことをしてしまう弱さがあることに気付かせたい。

4　本時の計画

（１）ねらい

友だちを許せないと思う場面について，登場人物への共感度を考えたり，役割演技をして互いの立場や気持ちを考えたりすることを通して，相手の立場に立って広い心で物事を考えながら，自分の気持ちも相手に伝えようとする心情を育てる。

（２）指導の構想

①事前アンケートの結果を示してから，教材の話の内容を整理し，由希のしたことや，「私」の立場をおさえ課題をつかむ。

事前アンケートを示し，友だちを許せないことが「あまりない」「ない」と答えた児童の中には，「許さないと友達がいなくなるかもしれない。」と不安に感じて許している児童もいることを知らせる。これまでの自分を改めて振り返り，自分事として考えるきっかけとしたい。

教材文は，本時の時間を考慮し，事前に一読させ，内容を整理しておく。本時では，由希が仲たがいをするような行動をしたことや，「私」は，初め一人ぼっちの寂しさを味わったが，後で，朝実と一緒に由希を無視する立場になったことを再確認する。

②心情スケールを用いて「私」が由希を無視したことへの共感度を確認する。

由希を無視した「私」にどのくらい共感できるかを，心情スケールで表し，理由もノートに書く。黒板にネームプレートを貼り，理由を発表させ，色々な考えに触れる機会とする。その際，友達を無視する行為は，よい行いではないことを全体で確認する。行為はよくないが，それをしてしまう気持ちは分かるという考えへとつなげる。

③もし，「私」が由希に話し掛けるとしたら，何と言うかを考え，友達と考えを交流する。

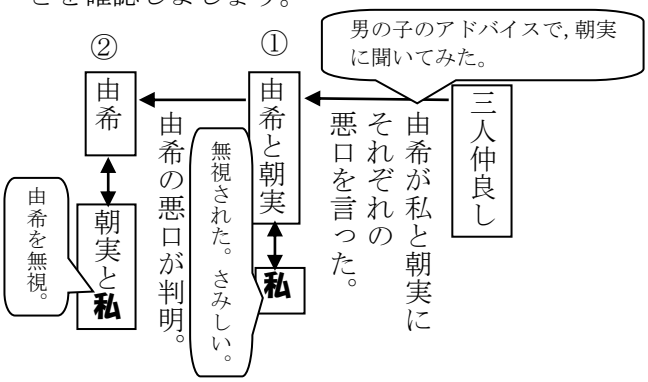
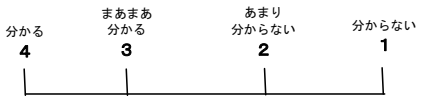
まず，自分の考えをノートに書いてから友達と交流する。かかわる人数を，男女合わせて３人と制限し，じっくりかかわることができるようにする。

④代表のグループに役割演技をさせて，全体で良さを共有し，まとめる。

「私」役の児童がセリフを言った後は，由希役，「私」役ともに，自由に会話をさせる。会話が続かない場合は教師がサポートに入って深い話になるようにする。演技が終わったら，それを見ている周りの児童に感想を聞き，その後，由希役，「私」役の児童に聞く。話し掛けたことで，互いにすっきりする方向に近づいたことを確認する。更に，相手の立場に立って考えることや，自分の気持ちも伝えていたポイントをおさえ，まとめにつなげる。

（３）展開

学習活動	教師の働き掛けと予想される児童の反応（含む学習内容）	○留意点　■評価
導入 １　事前アンケートの結果から，「許さないと友達がいなくなる。」と感じ，これまで許してきた	Ｔ１：みんなに事前にとったアンケートの結果です。 ①　友だちを許せなかったことはありますか？ ・ある，時々ある○○人　・あまりない，ない○○人 ②　それはなぜですか？ （ある）・さすがに友達でも嫌なことは嫌だから。 ・何度もされたから。 （ない）・また一緒に遊びたいから。 ・許さないと友達がいなくなると思うから。 Ｔ２：許せなかったことが「ある」と答えてくれた人の	○事前アンケートの結果を示し、友達を許せないと思ったことが「ない」理由として，「許さないと友達がいなくなるから」と感じている児童がいることを知らせる。

人もいることを知る。 ２分 ２　話の内容を整理し，由希のしたことや，「私」の立場をおさえ課題をつかむ。 ７分	中には，「何度も嫌なことをされたから。」，「許せないことで嫌だと感じたから。」という理由の人が多かったです。「ない」と答えてくれた人の中には，「また一緒に遊びたいから許す。」，「許さないと友達がいなくなるから許している。」，という人もいました。 Ｃ１：なるほど。そう言われたら，自分も友達がいなくなったりまた仕返しなどされたりするのが嫌だから許したこともあったかもしれない。 Ｔ３：「どうしたらいいの？」の話について，整理したことを確認しましょう。  Ｔ４：由希のしたことをどう思いますか？ Ｃ２：由希はひどいね。 Ｃ３：①の所で，「私」はすごく悲しいと思う。 Ｔ５：「私」は，どうしたらよいか悩んでいるみたいですね。本当はこの３人はどういう関係になりたいのでしょう。 Ｃ４：前のように仲良くなりたいと思う。 ＜学習課題＞ どうすれば，友達とよりよい関係を築けるのだろう。	○教材文は事前に一読させ，イラストを入れた関係図を用いて話の内容を整理しておく。本時では，由希がそれぞれの悪口を言ったことで仲たがいをしようとしたことや，「私」は，はじめ仲間外れにされたが，今度は朝実と一緒に由希を無視したことなどの大事な点を確認する。 ○由希がしたことを整理し，その行為をどう思うか聞いたり，本当はどういう関係になりたいか聞くことで，学習課題へとつなげる。
展開 ３　由希を無視した「私」にどのくらい共感できるか，心情スケールに表し，考えを交流する。 ８分	Ｔ６：由希を無視した「私」の気持ちがどのくらい分かりますか？ノートに当てはまる数字を書いて，その理由も書きましょう。  Ｃ５：４（よくわかる）。自分が同じことをされたらものすごくつらいから。 Ｃ６：３（わかる）。確かにつらいけど，仕返しするのはよくないと思うから。 Ｃ７：２（あまりわからない）。無視するのはいじめだから。 Ｔ７：ネームプレートを黒板の心情スケールに貼りましょう。 Ｔ８：その数字を選んだ理由を教えてください。 Ｃ８：「私」は，朝実と一緒に由希を無視しました。これは仕返しだから，よくないと思う。 Ｔ９：そうですね。してしまったことはよくないですね。	○自分のノートに書いた後に，黒板の心情スケールに各自のネームプレートを貼らせる。 ○それぞれの共感度の理由を数人に聞いて，全体で共有する。 ○無視をする行為はよい行いではないことを全体で確認する。

	でも，４「分かる」，３「まあまあ分かる」を選んだ人は，そうしてしまうくらいつらかった気持ちは分かるということですね。 Ｃ９：そう。よくないことは分かるけど，無視されてしまって悲しくてやり返す気持ちは分かる。 Ｔ10：今回のお話で，もしこのまま「私」が由希に話しかけなかったら，どうなると思いますか。 Ｃ10：お互いすっきりしない。 Ｃ11：友達関係が壊れる。 Ｃ12：もしかしたら，由希にも事情があるかもしれない。 Ｃ13：だって，最初男の子から言われて朝実に話し掛けたら分かったことがあったしね。 Ｔ11：そうですね。あの男の子が言うように，今回も確かめてみないと分からないこともあるかもしれませんね。 Ｃ14：由希に話し掛けた方がいい。	○行いはよくないが，気持ちは分かるということを強調して触れる。 ○このまま由希を無視し続けているだけでは，解決しないことをおさえ，次の活動につなげる。 ○由希に何か理由があるかもしれないと言う児童がいれば，その考えを取り上げる。もし出なければ，教師から投げかける。
４　もし，「私」が由希に話しかけるとしたら，何と言うかを考え，友達と交流する。 10分	Ｔ12：もし，「私」が由希に話し掛けるとしたら，何と言うと思いますか。ノートに書きましょう。 Ｃ15：無視してしまってごめん。 Ｃ16：私を仲間外れにしたのはどうして？私が何かしたのなら謝るよ。 Ｃ17：今まで無視してごめん。でも，私もあの時，無視されて，仲間外れにされてすごく悲しかったしつらかった。何か私がいけないことをしたかな。したのなら謝るよ。 Ｔ13：友達同士で考えを交流しましょう。男女合わせて３人の友達の考えを聞いてきましょう。聞いている時は，由希になったつもりで聞いてください。「私」も，由希も，よりすっきりする言い方は，誰の，どんなセリフでしょうか。 Ｔ14：交流してみてどうでしたか？ Ｃ18：謝るだけじゃなくて，どうして？など理由を聞いた方がいいと思いました。 Ｃ19：Ｃ17さんの考えは自分の気持ちも伝えていていいと思いました。	○まず，自分の考えをノートに書かせる。 ○時間で区切って，全員で立ち歩いて友達とノートを見せ合って考えを交流する。交流する人数を制限し，じっくり発表し合えるようにする。 ■相手の立場に立って考えたり，自分の気持ちを相手に伝わるように話そうと考えたりしている。(話し合い・ノート)
５　代表児童に役割演技をさせて，全体で良さを共有し，まとめる。 １３分	Ｔ15：では，実際に演技をして，よりよい関係になれるかどうか確かめてみましょう。代表の人に，由希役と，「私」役をやってもらい，「私」が由希に話し掛ける場面をしてもらいます。由希役は，言われて思ったことを話してみましょう。見ている人は，セリフのいいところを見付けましょう。話している人の目線や表情にも注目できるといいですね。 Ｃ20：「私」役…今まで無視してごめん。でも，私もあの時，無視されて，仲間外れにされてすごく悲しかったしつらかった。何か私がいけないことをしたかな。したのなら謝るよ。 Ｃ21：由希役…うん。こちらこそ，嘘を言って無視してしまってごめんね。	○見ている人には，どんなことを話しているかに注目させる。目線や表情などにも注目させる。 ○由希役には，自分で考えたセリフを言わせる。

	T16：「由希」さんは，何か原因がありますか？ C22：はい。最近，2人が仲良くしている気がして，1人ぼっちになるのではないかと思って心配になって…。 T17：なるほど。じゃあ，それを「私」に伝えてみましょう。 C23：由希役…最近，朝実とあなたが仲良くしている気がして，1 人ぼっちになるのではないかと思って…。 C24：「私」役…そうだったんだね。心配かけてごめんね。そんな心配はいらないよ。これからはまた３人で仲良くしていこう。 C25：由希役…うん。今までごめんね。 T18：見ている皆さんはどうでしたか？ C26：お互いにすっきりしていそう。 T19：「由希」さんは，どうでしたか？ C27：自分も無視したことをすごく反省した。悪いなという気持ちになったし，「私」とまた友達になりたいと思った。 T20：「私」さんはどうでしたか？ C28：自分が無視したことを謝るだけじゃなくて，自分がつらかった気持ちを伝えて，それを分かってもらえてよかった。 T21：もし，無視したままだったら，由希の気持ちやその時の事情が分からないままだったかもしれませんね。	○深い話になるように，話が続かない場合は，教師が間に入る。 ○先に見ている児童に，感想を聞く。次に由希役，「私」役から話を聞く。 ○話し掛けたことで，互いにすっきりする方向に近づいたことを確認する。
まとめ 振り返り 6 振り返りをする。 5分	T22：今日のまとめをしましょう。 ＜学習のまとめ＞・相手の立場に立って，その時の気持ちや事情を想像しようとすることが大切。 ・自分の気持ちも相手に伝わるように言い方を考える。 T23：振り返りをノートに書きましょう。 C29：役割演技をして，自分の気持ちを一方的に言うのではなく，相手の気持ちを考えた上で伝えることが大切だと思った。 C30：今までは自分の気持ちを我慢していたけど，今度から自分の気持ちも伝えた上で相手を許したいと思った。	○できるだけ児童の言葉でまとめる。 ○これまでと考えが変わったことや，そのきっかけとなった友達の考えや出来事，今後の生活に生かしていきたいことなどについて書かせる。 ■これからの生活の中で，相手の立場に立って広い心で考えようという意欲を高めている。（ノート）

（４）評価

○相手の立場に立って考えたり，自分の気持ちを相手に伝わるように話そうと考えたりしている。（話し合いでの見取り・ノート記述での評価）

○これからの生活の中で，相手の立場に立って広い心で考えようという意欲を高めている。（ノート記述での評価）